

一地球温暖化防止への取り組みー 環境配慮包材を使用した商品を 拡大いたします。

ファミリーマートは地球温暖化防止に向け、店舗設備の省エネ化や商品包装の軽量化等様々な取り組みを行ってきました。
2017年度は商品包材の取り組みを強化し、更なるCO₂削減を実施してまいります。

これからロゴを使って環境にやさしい商品をアピールしていくよ!



We Love Green

We Love Green
環境に配慮していることを表すファミリーマートオリジナルマーク



COOL CHOICE
温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動



1. サイドシュリンク包装の刷新

ファミリーマートのお弁当包装は、2013年より容器全体をラップする「フルシュリンク包装」からラップレス包装への変更に取り組み、2014年2月から容器とふたの結合部分のみフィルムを装着する「サイドシュリンク包装」へ全面切り替えを進め、包装フィルムの使用量削減による環境負荷低減に取り組んで参りました。

当初お弁当容器から始まったこのサイドシュリンク包装の取り組みも、現在はパスタや調理麺など様々な商品で使用されています。

サイドシュリンクとは・・・

蓋と容器の間だけをフィルムを装着する包装。容器の形状に関係なく同じフィルムを使用することが可能になり、お子様からお年寄りまで開けやすい包装です。

弁当容器包装の変遷

フルシュリンク包装



2013年6月以前

テープ+ラベル4点止め包装



2013年6月～
2013年11月

テープ4点止め包装



2013年12月～
2014年9月

サイドシュリンク包装



2014年2月～

「サイドシュリンク」の本格的導入は大手コンビニエンスストアで初めて!

2014年度よりサイドシュリンク包装に取り組み、**2016年度は1,540tと、杉の木約11万本分のCO₂を削減**しました。

2017年度はこの取り組みをさらに刷新しフィルムの幅を4%減少することで、2017年度削減見込の2,000tより約80t追加した**2,081t (杉の木約15万本分)**の削減が見込まれます。

BEFORE



4%縮小



ロゴマーク・開封表記の削除

AFTER



●環境効果

さらに・・・

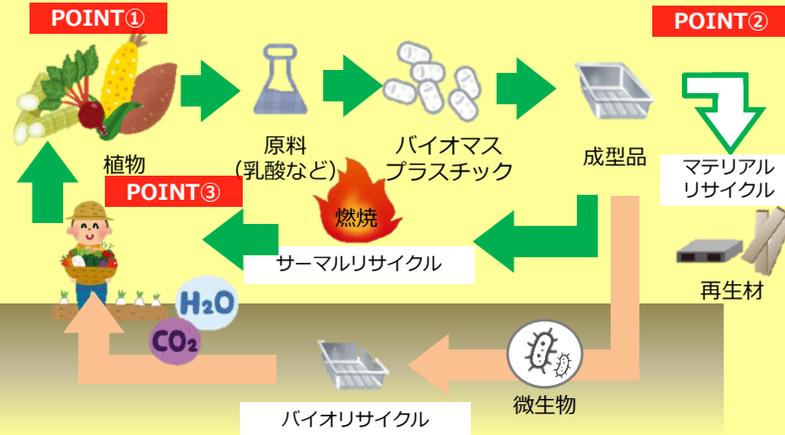
約80tのCO₂を削減!



2. 環境対応プラスチック採用拡大

2017年よりトウモロコシやサトウキビ、ビート、サツマイモなどの植物を原料にした「バイオマスプラスチック（PLA）」をサラダ3アイテムの容器に使用しています。バイオマスプラスチックは石油資源を使わないため、1個当たり24.57gのCO₂発生量がゼロになり、CO₂を増やしません。この取り組みで2016年は1,846tのCO₂を削減しました。
また、2017年度ファミリーマートのバイオマスプラスチック使用量は、日本国内における使用量全体の約20%まで達する見込みです。

バイオマスプラスチックの環境循環



POINT

- ① **石油資源を使わない**
植物から作られるので、石油資源の使用を節約できます。
- ② **ゴミを出さない**
プラスチック製品を回収し再商品化することが可能です。
- ③ **CO₂を増やさない**
焼却や分解により排出されるCO₂は同量のため、絶対量は増えません。
(カーボンニュートラル)

2017年度は、新たにバイオPETと再生PETの2つの環境対応プラスチックを導入します。

バイオPET素材は冷し中華容器、冷し麺容器、サラダの容器で使用。再生PET素材はミニ冷し麺容器と Pasta サラダ容器に導入し、さらに年間1,400 tのCO₂削減を目指しています。

● 環境効果

さらに年間約1,400 tの
CO₂削減をめざします！！

NEW 2017年度新規導入素材

バイオPET素材

石油由来PET原料のうちの30%をサトウキビ由来のバイオエタノールから製造。石油資源の消費を抑えます。

再生PET素材

回収した使用済みのペットボトルを原料とした素材です。



3. 植物性インキの使用拡大

サンドイッチなどの包材の印刷で使用するインキには植物性インキを使用しています。植物性インキとは再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物由来の油、及びそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を原料とした印刷インキで、2017年11月よりさらにおむすびや手巻き寿司の包材にも植物性インキを使用し、約100 tのCO₂削減を目指します。



● 環境効果

年間約100 tの
CO₂削減を目指します！

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。